



幼保連携型認定こども園
月津こども園
令和7年2月号

1月は雪も降り、天気を見ては園庭で冬の遊びを楽しんでいました。2月4日は暦の上では立春で春を迎える時期とされていますが、一般的に1月下旬から2月にかけて最も寒くなるといわれています。感染症がまだまだ流行る時期なので、外出先から帰った後には手洗い・うがいをし、家族みんなで感染予防に努めていけるといいですね。

母子手帳を確認してみませんか



年長さんはMR2回目お済みですか？

就学前にMR2回目の接種を終えましょう。3月31日までは定期接種として受けることができます。受けることができるタイミングで早めの接種を心がけましょう。

予防接種忘れていませんか？

1年後の追加接種、忘れていませんか？3歳以降は予防接種の数が減るためつい忘れがちですが、追加接種のある種類があります。せっかく最初の接種を受けても、追加接種を受けないと免疫が十分につきません。時々、母子手帳を見返して確認出来るといいですね。

※予防接種後に体調が悪くなったりすることがありますので、**登園前の予防接種はお控え**ください。自宅にてゆっくり過ごすか、降園後の接種にご理解とご協力よろしくお願い致します。

ひまわり組健康教室「プライベートゾーンについて」

ひまわり組のみんなと一緒に「プライベートゾーン」について話し合いました。プライベートゾーン(水着を着ると隠れる部分と口)は自分だけの大事な場所、簡単に人に見せたり触らせたりしてはいけないことを絵本や動画を通してみんなで話し合ったり考えました。困ったことがあったら大人に相談をする、を繰り返し伝えましたので「**自分を守る力をつける**」ためにもお家でもお話ができたらいいいですね。



「おしえてくもくん」の絵本の読み聞かせをしました。どの子も集中して聞いていました



どこが触られると嫌かな？
「ほくここかなー」と話していましたよ



薄着と重ね着で 元気に過ごそう



寒いとつい厚着をさせたくくなりますが、薄着で寒さや外気を感じることで寒さへの適応力がつきます。親子で寒さに対応出来る身体づくりをしてみませんか。

寒い時期の子どもの服装のポイント



肌着を着せる

肌着を着せないと必要な体温が逃げてしまい、冷えて感じてしまいます。半袖やタンクトップの肌着を着てお腹や背中を覆い、しっかり身体を保温しましょう。

厚手の服より重ね着を

厚手の服に頼るよりも、**薄手の服を重ねて着る方が**空気の層ができるため、暖かく、**後で脱ぎ着して**体温を調整できるのでお勧めです。園では暖房をかけ活動をしているので裏起毛やキルティングの服は暑くなってしまいます。化学繊維は肌荒れの原因になることも多いので、**綿の肌優しい素材**を選んであげられるといいですね。

靴下は長めの物を

冬場の時期に外出するときは、寒さを感じやすい首、手首、足首を暖めましょう。マフラーや手袋、長めの靴下、レッグウォーマーなどで身体の冷え過ぎを防ぐことができます。

小さい子どもの冷えに気付くポイントは？

まだ言葉でうまく伝えられない小さな子どもには、**顔色が悪くないか、お腹や背中が冷たくないか**みて下さい。子どもが寒がっているサインの目安になります。

